

自詠俳句

万緑や木曾路旅する二夫妻

自詠俳句

水芭蕉誇らしげなる花の数

樂壽

馬緯雲詩
南郭詩

一茶の句

白露をこぼさぬ萩のうねりかな

一茶の句

鹿の子やよこにくわえて萩の花

温故知新

山頭火の句

まどろめばふる里の夢のあしの葉ずれ

自詠の句

また一つ年重ねけり屠蘇の味

秋葉琢磨

千葉・産婦人科

飯島初枝

(東華)

千葉旭市

飯田文良

(格城)

山梨・外科

梅澤信子

東京

大原政子

石川

大西正一

(石聲)

三重・内科

王摩詰詩

昨夜窓前

虚子の句

過ぎてゆく日を惜しみつつ春を待つ

憩

涼

百人一首

山里は冬ぞさびしさまさりける

人めも草も枯れぬとおもへば

和顔既以暢

鶴舞千年松 亀遊萬歳岩

千樹桃花萬年樂

半潭秋水一房山

獨上江樓思渺然

小口英世

(南石)

神奈川・内科

小口明子

神奈川

加瀬幸雄

(東垣)

千葉・小児科

加藤晃子

(青苑)

千葉

神山一郎

(杏軒)

東京

酒井敏夫

(敏)

神奈川・生理学

鈴木久世

(登興)

東京